

平成18年度第6回西区区民会議・議事録

I 日時・場所

日 時 平成19年3月2日（金） 15:00～16:30

場 所 西区役所1階 指導講座室

II 出席者

（委員：17名 敬称略、50音順）

青木忠雄、池谷勝則、江口三郎、大須賀晤、岡部安男、小峰武久、笹本カホル、
関根明、関根英明、土橋章次、中嶋泰彦、浪江好治、平野初夫、廣瀬彌生、松本譲二、
宮内潔、横田明（欠席：今西誠一、永田悦男）

（事務局：9名）

上野区長、鈴木副区長、山岸区民生活部長、岩田健康福祉部長、
遠山コミュニティ課長、藤巻コミュニティ課長補佐、松田主査、市川主事、
コンサルタント

III 次第

1. 開会
2. 議事

※報告事項（前回議事録の確認等）

- （1）各部会の活動報告について
- （2）活動報告書（案）について
- （3）活動報告書（案）確認手順について

3. 感謝状・記念品の贈呈
4. 閉会

IV 議事の概要

1. 第6回区民会議 確認事項等の概要

- | |
|--|
| <p>①活動報告書（案）が確認された。</p> <p>②活動報告書（案）確認手順が確認された。</p> <p>③議事終了後、委員が感想を述べ、感謝状等が贈呈された。</p> |
|--|

2. 議事

(1) 各部会の活動報告について

各部会より、部会の活動経過について報告があった。なお、基本部会は既に活動を終了しているため、アクション部会・広報部会のみ報告があった。

①アクション部会

■環境・防犯部会

- ・今年度事業として、「青少年健全育成講演会」「菊花展」「風景写真展」を企画した。
- ・現在、「風景写真展」の開催に向けた準備が終了したところである。38点の応募があり、キーワードごとに5つの分野にわけた。3月5日から16日まで、区役所1階ホールにて展示するので、ぜひご覧いただきたい。
- ・この事業は、西区の代表的な自然的風景、あるいは穴場的な良い風景を区民自らが撮影し、それを展示することによって、郷土愛を深めるだけでなく、自然的風景保全の機運を高めようという趣旨である。本事業をもって、環境・防犯部会の事業はすべて終了となる。

■スポーツ振興部会

- ・今年度事業として、「スポーツ健康セミナー」「ふれあいウォークラリー大会」「ふれあいたこあげ大会」を企画し、基本部会、あるいは各種団体との連携のもとに、事業を実施してきた。
- ・2月18日に、第3回西区ふれあいたこあげ大会を開催した。これまでで最多の300人を超える申し込みがあったが、当日はあいにくの雨で、たこの製作のみとなった。それでも170名以上の参加をいただいた。
- ・また、庄和町大凧保存会に加え、今回新たに、新潟鳥凧の会にも参画していただいた。地域に根付いただけでなく、交流の輪も広がったように思う。

■歴史・文化部会

- ・今年度事業として、「文化財見学会」「歴史・文化財講演会」「文化財ガイドブック」を企画し、事業を実施してきた。
- ・文化財ガイドブックは、2月末に5,000部が完成し、現在、無償頒布されている。この冊子では、区内の指定文化財を中心に、祭囃子なども解説した。
- ・地域を知り、愛着を持っていただくために活用されたく思う。

②広報部会

- ・「西区区民会議だより第12号」を、3月1日付けで発行した。
- ・12号の内容は、会長からのあいさつ、活動経緯、部会の活動紹介、風景写真展などの告知記事から構成している。
- ・不慣れななか、第6～12号を無事発行することができた。原稿執筆にご協力いただいた皆さまに、感謝申し上げたい。

(部会報告について、意見・質問はなかった。)

(2) 活動報告書(案)について (3) 活動報告書(案)確認手順について

事務局およびコンサルタントより、活動報告書(案)、活動報告書(案)確認手順について説明があった。

- ・前回の区民会議では、活動報告書(素案)をお示しした。今回の活動報告書(案)は、前回未完成であった部分を補足するとともに、委員の皆さんからいただいた意見を踏まえて修正したものである。
- ・補足、修正した主な部分は、31ページの提言一覧表と、59ページからの活動の成果と課題である。提言一覧表については、提言の本文中「提案」とある部分との整合を図り、主な取り組み主体がわかるよう整理した。また、活動の成果と課題については、委員の皆さんで議論されてきたことを基礎として、事務局・コンサルタントの意見も加味した形で整理した。
- ・活動報告書(案)の確認については、この場でご議論いただくほか、3月19日に最終案を各委員あてに発送するので、所定の様式にご記入のうえ、3月29日必着で修正意見を出していただきたく思う。
- ・なお、報告書の体裁については、昨年と同様に表紙をコート紙とし、10～15ページをカラー印刷したものになろうかと思う。4月中を目途として、最終印刷物を委員の皆さんにお届けする。

(説明について、意見・質問はなかった。)

□2年間の活動を振り返って

感謝状・記念品の贈呈に先立ち、上野区長よりあいさつがあり、委員一人ひとりが感想を述べた。

会 長：縁に恵まれて、第1期・第2期と会長を務めさせていただいた。市長報告会でも強調したが、西区区民会議の特徴は、アクション部会を設け積極的に行動したことにある。これは他の区民会議にはないことであり、胸を張れる成果を残せたと思う。

副会長：私も、第1期・第2期と務めさせていただいた。当初はとまどいもあったが、川崎市高津区に視察に行ってから、活動の方向性が定まり、さまざまな事業を展開できた。委員の皆さんには、大変お疲れさまでしたと申し上げたい。

副会長：活動報告書（案）の59ページに、「目に見える」活動の展開、実践を踏まえた提言が区民会議の成果であったと整理されている。まさしくその通りだと思うし、そう心がけて活動してきた私としては、面目躍如たるものがある。

副会長：2年間という期間は長いように思ったが、活動を始めてみるとあっという間であった。個人として何が良かったのかと振り返ると、委員の皆さん、地域の皆さんと顔見知りとなり、色々な経験ができた。それが財産になったと思う。

委 員：区民会議がこんなに忙しいものだとは、正直思っていなかった。もう少し、ゆっくと議論がしたかった。これからのまちづくりは都市機能だけでなく、緑、あるいは歴史文化など、総合的に捉えて進めるのが良いと思う。

委 員：通算で4年間務めさせていただいた。確かに、色々な事業を行ってきたが、事業そのものに加え、事業を通じて、さまざまな人と人とのつながりをつくることができた。それが成果だと思うし、そのことができる西区は恵まれていると思う。

委 員：深く考えた2年間だった。この西区は生まれたてともいふべきであり、どのようにも育てていける。そんななか、“水と緑と花のまち”を基本に据えて考えてきた。新駅周辺整備にもこの理念は反映されるとのことで、大変嬉しく思う。

委 員：私の問題意識は具体的なものであったが、提言に上手く取り込めたと思う。そういえば、菊花展のときに「冬知らず」という花を配った。その花が今、真っ盛りである。まさにこの地にふさわしい花だと、改めて思った。

委 員：やり残したこともあるように思う。委員が終わっても、いかに地域に関わっていけるか。そのことが大切なのだろう。新宿区民会議のように、数百名という公募委員

が集まる地域もある。西区でも、区民の関心を高めていければと思う。

委員：当初は、どのような活動をするのかとまどいもあったが、活動が始まってみると、色々な取り組みができた。わずか1期2年間でこれだけの冊子ができたことには、大変驚いている。委員の皆さんには、またお付き合いをお願いしたい。

委員：あつという間の2年間だった。広報部会長になったものの、当初は何も分からなかった。皆さんのサポートに感謝したい。区民会議に参加しなければ、西区の良さも分からなかった。それが収穫であったように思う。

委員：仕事や普段の活動があるなか、気がつけば3つの部会、その他実行委員会などに所属していた。所属団体に報告したら、会議やイベントの多さに驚かれたが、私は少しも苦ではなかった。皆さんの熱い想いにふれられて、大変良かった。

委員：やはり、体を動かして人と人がふれあわないと、まちは動かない。区民会議の成果が何かというと、「動く」という手法の確立など、今後の展開のための下地をつくれたことだと思う。地域には、委員を退いても関わっていきたい。

委員：西区に住んで10年になるが、道路の未整備さなど、身近な環境に危機感を持っていた。その気持ちが色あせないうちにと参加したのだが、正直なところ、もっと提言を深めていけたかな、とも思う。

委員：私事だが、家族の看病などの事情があり、この2年間、なかなか参加できなかった。部会活動など、あまり参画できなくて申し訳なく思う。また、何らかの形で、地域のお役に立てればと思う。

委員：2年間は本当にあつという間だった。本来ならば、もう少し議論の時間があってもよかったように思う。しかし、さまざまな事業の展開、実践活動を通じて、色々な人たちと知り合えた。このことは、すばらしい財産になった。

委員：商工会議所の先輩とも成果について話したが、私の場合は、やはり「子育て応援ガイド」を発行できたことだと思う。自治会に入っていない子育て世帯にもいきわたるよう、全戸配布としたのも良かった。また、皆さんと活動したく思う。

□その他

- ・委員から、区役所周辺の緑化に関する意見が出された。
- ・事務局から、連絡事項等があった。

以上